

第59期第2四半期 累計期間(中間)報告書

平成27年2月1日～平成27年7月31日
(証券コード:7956)

CONTENTS

- P.01 トップインタビュー
- P.03 事業のご紹介
- P.05 世界各国の育児事情
- P.06 世界のビジョンからこんにちは!
- P.07 当中間期の経営成果
- P.08 主な経営指標
- P.09 トピックス、会社概要
- P.10 株式の状況など

公益社団法人 発明協会
第37回 未来の科学の夢絵画展

幼稚園・保育園の部 奨励賞

『世界中が見えるメガネ』

このメガネをかけると
地球の裏側にいる遠くに住む人たちも
見ることができる。

熊味保育園(愛知県)
大藪 勇輝くん



経営理念は「愛」 社是は「愛を生むは愛のみ」

代表取締役社長

山下 茂



Pigeon Way

Pigeon Wayとは

Pigeon Wayは、私たちの“心”と“行動”の拠り所であり、すべての活動の基本となる考え方です。



■ 経営理念

—強く信じる経営の根本の考え

「愛」

■ 社是

—経営理念を端的に表現したもので、各人が仕事をする際にいつも大切にし、同時に振り返るためのもの

「愛を生むは愛のみ」

■ ビジョン

—目指す理想の状態、到達したい姿

世界中の赤ちゃんにご家族に最も信頼される育児用品メーカー
“Global Number One”

■ 使命

—どのような形で社会に貢献するのか、また、何のために働くのかを約束するもの

「愛」を製品やサービスの形にして提供することによって、
世界中の赤ちゃんにご家族に喜び、幸せ、そして感動をもたらすこと

■ 基本となる価値観

—社員一人ひとりが大切にすること

- 誠実 (Integrity)
- コミュニケーション・納得・信頼 (Communication, Consent, Trust)
- 熱意 (Passion)

■ 行動原則

—我々のすべての行動のベースとなり、ガイドとなるもの

- 迅速さ (Agility)
- 瞳の中にはいつも消費者 (Keep sight of consumers)
- 強い個人によるグローバルコラボレーション (Global collaboration among competent individuals)
- 主体性と論理的な仕事の仕方 (Leadership and logical working style)
- 積極的な改善・改革志向 (Willingness to change)

Q. はじめに第59期第2四半期決算を振り返っての評価をお聞かせください。

A 国内ベビー・ママ事業、海外事業、中国事業が牽引し、増収増益を果たしました。

当第2四半期決算(以下当中間期)は、中核となる国内ベビー・ママ事業、中国事業、海外事業が非常に好調に推移し、売上高は前年同期比18.6%増の465億22百万円、営業利益は同29.2%増の77億33百万円、当期純利益は同29.7%増の52億82百万円と、引き続き増収増益を達成することができました。国内ベビー・ママ事業では、新たな柱となる事業として育ててきた大型商品を一定規模にまで成長させることができました。成長を牽引した商品は2015年1月に発売したベビーカー「Runfee(ランフィ)」です。ベビーカー使用時に多くのママが街中の段差にストレスを感じている点に着眼し、ピジョンの開発力を駆使してこの「お困りごと」を解決した本商品は、発売以来評価をいただき、急速にシェアを拡大しています。

海外事業は円安効果もありましたが、現地通貨ベースで見ても、売上が拡大するとともに、生産会社の効率化等の施策を着実に実行することで増益に寄与しました。また、「ランシノ」ブランドで展開する北米は、ほぼ全商品が売上を伸ばす中、特に手動さく乳器が大きく伸長し、乳首クリーム・母乳パッド・母乳バッグといったNo.1シェア商品に続く柱へと成長しています。そうした中で、ランシノはい

ギリス・ドイツなどの欧州やトルコでも順調に販売を伸ばしました。

中国事業は、マーケティング施策や販促普及活動が奏功し、哺乳びん・乳首カテゴリーなどの高付加価値の商品が堅調に推移しました。

当中間期の経営成果を踏まえ、通期の業績予想も上方修正しています。

Q. 下期以降の見通しや、リスク・課題について教えてください。中でも中国の景気減速が気になりますが。

A ピジョンの中国事業は、魅力ある商品づくりとさらなるブランド価値の浸透を通じて、引き続き事業拡大を進めていきます。

国内ベビー・ママ事業では、今後も続々と大型商品の新機種発売を予定しており、より大きな事業へと成長させていきます。一方で、伸び悩みが続くヘルスケア・介護事業、インド事業、さらには中国での紙おむつ事業など、いくつかの課題も認識しています。ヘルスケア・介護事業では中期的な売上増加につなげる新施策を検討しており、またインドでは稼働を始めた現地工場を周辺国の生産拠点としてもフル活用すべく準備を進めています。中国の紙おむつは、より吸水性に優れた商品にリニューアルをするなど、各課題に対してはすでに施策を講じています。

中国については、中国経済の減速懸念が、株式市場にも影響を与えているようですが、ピジョンの中国事業は、マクロの中国経済動向から影響を受けたことはほとんどありません。したがって、私はこれまでどおり中国事業の拡大を図っていけると自信を持っています。一方、日本を訪れる外国人旅行者のインバウンド需要の影響が国内ベビー・ママ事業において見られますが、中国においても、保税特区を活用して正規に輸入した外国製品をインターネットで販売する企業が増えるなど、新しいインバウンドの動きがあります。現時点では大きな影響を受けていないものの、引き続き動向を注視しながら事業を推し進めてまいります。

Q. 『Pigeon Way』制定から1年半が経ちました。今、改めて『Pigeon Way』に込めた思いと成果についてお聞かせください。

A 地道に浸透・定着に向けた活動を続け、すでに成果も見え始めています。

企業統治のあり方を考えると、グローバル化が加速する中で世界中の社員が同じ方向を向いていることが極めて重要な意味を持ちます。

私たちは、日々仕事をしていると「目的」と「目標」を混同しかねない局面に遭遇することがあります。例えば、理念がなくてもお金があれば会社は倒産しませんが、逆に高邁な理念や夢があってもお金がなければ長くは存続できません。そう考えると売上や利益は非常に大事なのですが、それはしかし、会社が存続していくための「目的」ではないのです。「目的」は、私たちの「ミッション」であり、「誰のために、また、何をもたらすために、私たちは働いているのか」ということです。

私は、この「目的」をグローバルレベルで全社員が共有できれば、すべての事業における方向性が明確になり、全体最適の視点での意思決定が可能になると考えました。そこで、ピジョンの「経営理念」「社是」「ビジョン」「使命」「基本となる価値観」「行動原則」などを一つに集約した『Pigeon Way』を約1年半前に制定しました。

『Pigeon Way』浸透の成果に関しては、①私たちのミッションがどれだけ達成できているか、②従業員が働き甲斐を感じているか、③資金の効率的な運用を通じて売上、利益、中長期的なフリー・キャッシュ・フローを増やすことができているか、という三つの視点です。すでに評価できる進捗が見られており、哺乳びん・乳首は全世界でシェアを伸ばし、国内でもベビーカー「Runfee(ランフィ)」など、多くの赤ちゃんとママに幸せや感動を届け続けています。また、従業員視点では、昨年初めて実施した「働きがいのある会社調査」において、「会社に対する誇りや働きがい」が、ベストプラクティスと評価される企業に比べても非常に高い結果となりました。

『Pigeon Way』の全社員への浸透・定着は一朝一夕にできるものではありません。この1年半、私自身も全拠点を回って

『Pigeon Way』の意味や込めた思い、目的などを説明・議論する「ピジョンウェイミーティング」を開催してきました。今後も引き続き、内容をさらに深化させながら、『Pigeon Way』の浸透・定着を図っていきます。

Q. 今回初めて選任した社外取締役の機能・効果について、どのように評価していますか。

A 当初の期待どおり、非常にうまく機能し始めています。

当社は、透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を通じて、継続的に事業を成長させ企業価値のさらなる向上につながることを目的に、第58期定時株主総会において初めて社外取締役を選任し、投資家でもある新田氏に就任いただきました。すでに数回、取締役会に出席いただきましたが、社外取締役として独立した視点で私たちの事業における課題をご指摘いただき、リスクの芽を刈り取っていただいているほか、新田氏ご自身の豊富な知見に基づいたさまざまなアドバイスも頂戴しています。新しいビジネスの可能性にまで踏み込んでご提案をいただいたこともあり、非常に活発なディスカッションを進められています。これらは当初私たちが期待していたとおりで、社外取締役の導入は、非常にうまく機能し始めていると実感しています。

Q. 株主の皆様にメッセージをお願いします。

A 成長はこれからも続くと感じています。従って還元にも前向きです。

利益の還元については、将来の成長に向けた投資を優先した上で、連結総還元性向45～50%の範囲で株主の皆様に還元することを方針としています。本年5月には普通株式1株当たり3株の株式分割を実施しましたが、当中間期の1株当たり配当金は第2四半期の堅調な業績等を勘案した結果、直近の配当予想から1株当たり2円増額し、20円とさせていただきます。今後もこの方針に基づき事業を進めてまいりますので、株主の皆様におかれましては引き続き応援をいただけますようお願い申し上げます。

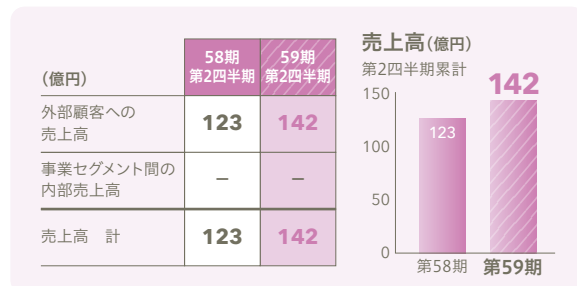
国内ベビー・ママ事業



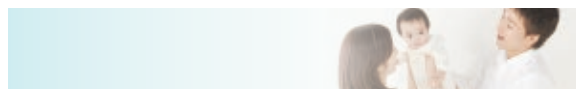
- 哺乳関連用品
- 離乳関連用品
- スキンケア用品
- 女性ケア用品
- その他ベビー、ママ関連用品
- ベビー大型用品

● 事業環境と当社の強み

少子化が傾向ではなく厳然たる事実となった日本において、2014年の出生数は、2013年からさらに約29,000人減少し約100万人まで低下しました。一方、国内は緩やかな景気回復傾向となりましたが、先行き不安感を完全には払拭しきれず、対象顧客層による買い控えや低価格志向は強まっています。そのような中、ピジョン商品は、半世紀以上にわたる赤ちゃんの哺乳研究や、乳幼児発達研究から生まれる絶え間ない商品開発と改良により、「安全・安心・信頼」のブランドとして広く認知が浸透しており、高いシェアを得ています。今後は大型商品のさらなる拡大、女性ケア用品の育成による商品カテゴリの拡充、また、既存分野における収益性の向上を図ります。



子育て支援事業



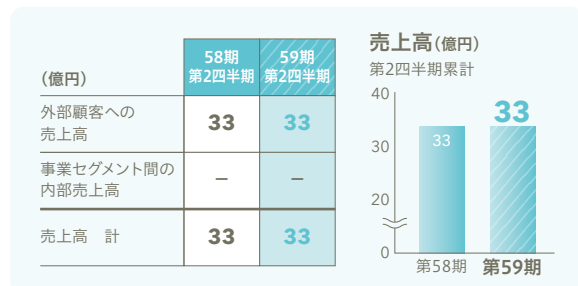
- 保育サービス
- 事業所内保育運営受託
- 託児
- ベビーシッターサービス
- 幼児教育サービス

● 事業環境と当社の強み

子どもは欲しいが働き続けたい、育児をしながら復職したいという女性は増加しており、当社への期待、果たす役割も大きく、具体的には保育園の開設、多様な保育サービスの充実を図るなど、子育て支援事業の展開には追い風が吹いています。

育児用品で培った「安全・安心・信頼」のピジョンブランドのもと、「子どもの育ちを第一に」との考えに沿って本事業を推進しています。国内トップクラスの事業規模と質の高いサービス提供により、皆様から信頼を得ています。

今後も、人材育成システムの充実、サービス内容の拡充を進め、保育品質のさらなる向上を図ります。



ヘルスケア・介護事業

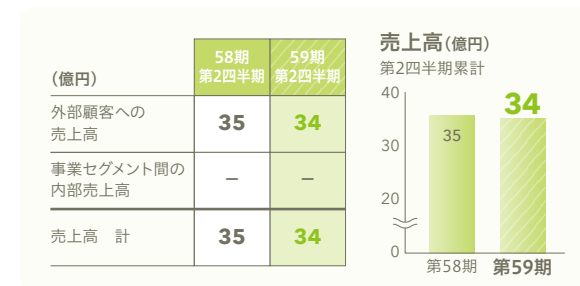


- 介護用品
- 老化予防用品
- 介護支援サービス

● 事業環境と当社の強み

総人口が減少する中で、高齢者が増加することにより高齢化率は上昇を続け、2013年には高齢化率が25.1%で4人に1人が高齢者となり、2035年には33.4%で3人に1人となるといわれています。競合各社の商品や営業活動も活発で新規参入事業者数も増加しています。当社は、品質に厳しい育児用品で培った実績、信用、ブランドをこの分野でも活かした展開を図っており、お客様の「お困りごと」に応える商品企画力、品質管理レベルの高さが強みです。

今後は、重点商品カテゴリを深耕することにより、商品競争力の向上を図り、施設ルートへの営業活動を強化します。



海外事業

○ベビー、ママ関連用品

展開エリア

アジア …シンガポール・インド 他
(中国事業展開エリアを除く)

北米 …アメリカ・カナダ 他

欧州 …イギリス・ドイツ 他

中近東 …アラブ首長国連邦・トルコ 他

その他 …南アフリカ・南米 他

● 事業環境と当社の強み

米国の出生数は、経済先進国の中では比較的安定した水準にあり、母乳育児が推奨され母乳への関心が高まるにつれて、母乳関連商品の需要が上昇しています。ピジョンは、米国および欧州への営業展開の基盤として、2004年4月に米国ヴァージニア州に拠点を持つ LANSINOH LABORATORIES, INC. (「ランシノ社」) を100%グループ会社化し、また、北米において、2014年から哺乳びんの本格的な販売を開始しており、商品カテゴリの拡充を図りながら、母乳育児支援企業としてブランド強化を進めています。一方、アジアではインドでの流通体制の構築や販売店舗の拡大を推し進め、2015年3月には、哺乳びん・乳首の生産工場も操業を開始し、さらなる収益改善を目指しております。

今後は、欧米での事業拡大が進んだランシノ社による販売を強化するとともに、新興国での展開もさらに積極化させていきます。



(億円)	58期 第2四半期	59期 第2四半期
外部顧客への 売上高	86	85
事業セグメント間の 内部売上高	18	34
売上高 計	105	119



中国事業

○ベビー、ママ関連用品

展開エリア

中国、韓国、台湾、香港、ロシア、フィリピン 他

● 事業環境と当社の強み

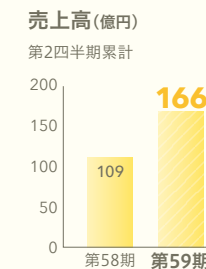
ピジョンは、2015年に中国市場への本格的参入13周年を迎えました。年間出生数が1,500万~1,700万人で日本の14~16倍といわれている巨大市場の中で、いわゆる「新富裕層」と呼ばれる世帯を主要ターゲットに、哺乳びん・乳首やトイレタリー関連商品を中心に新しいライフスタイルの提案を実施しています。また、現地に根付いているパートナー企業の販売網を通じてピジョンブランドの認知・浸透を図ってきたことで、ピジョン商品の品質とブランドは極めて高い評価を得ており、売上高も年々伸長しています。

中国では沿岸部と内陸部では収入格差などが認められますが、中国全土への展開を積極的に進めた結果、内陸部での売上高が沿岸部の大都市である上海、北京、広州での売上高を上回っており、今後もさらに伸長していくことが期待されます。

今後は、これまでの商品に加え紙おむつの販売拡大、新商品の拡充、病産院などへの普及活動の強化とともに、生産コストの管理と安定供給体制についても一層的確に進めます。



(億円)	58期 第2四半期	59期 第2四半期
外部顧客への 売上高	106	163
事業セグメント間の 内部売上高	3	3
売上高 計	109	166



※数値は、原則として各欄ごとに単位未満を切り捨てております。



ところ変われば育児も変わる。

世界各国の育児事情 vol.3

Singapore

■ シンガポールの出産・子育て事情

共働き世帯が約8割と、圧倒的多数を占めるシンガポール。出産・子育て事情はどうなっているのでしょうか。シンガポール国内で分娩施設を備えている病院は10軒。プレママ・プレパパは、出産に備え、事前に分娩施設などを内覧できるホスピタルツアーを予約してどの病院で出産するかを決めることが多いようです。通常の出産での入院期間は1泊2日が基本。妊娠期から出産後約1ヶ月くらいまでの間は、新生児ケアに関する専門知識があるドゥーラが新米ママの面倒を見てくれる産後ケアサービスの利用者が増えてきています。シンガポールでは法定の産前・産後休暇が計16週間となっていますが、ワーキングママの大半は、出産ギリギリまで働いて産後3~4ヶ月後には、赤ちゃんを保育園や両親に預けて仕事に復帰するようです。シンガポールは面積が東京23区と同程度なので、夫婦の両親が近くに住んでいるケースが多いというのも、それを可能にしている大きな要因の一つでしょう。

■ 少子化対策に力を入れているシンガポール政府

島国で多民族国家であるシンガポールも、日本と同様に少子化問題に直面しています。人材こそが唯一の国家財産と考えるシンガポール政府では、出産祝い金の「ベビー・ボーナス制度」や、親に子どもの教育基金積立努力を促す「子ども育成教育積立制度」、さらには就学前教育を徹底させるための「保育園利用補助金制度」など、出産奨励・育児援助に注力しています。子供のために取得できる年6日間の休暇のうち3日間や16週間の産休期間中の給与2ヶ月分などは、政府から給付されます。また、ママだけでなくパパの育児参加を促すために、ワーキングパパは最長2週間(うち法定は1週間)、政府支給による父親の産休が認められています。



世界のピジョンからこんにちは！

PIGEON SINGAPORE PTE. LTD.

ピジョン シンガポール



- 設立 ----- 1978年
- 代表取締役社長 ----- 仲田祐介
- 事業内容 ----- アジア・中近東・オセアニアにおける
妊産婦・乳幼児用品の販売
- 従業員数 ----- 72名(うち女性50名)

■ 大きな潜在力を秘めた市場で、ピジョンのシェアをさらに高めていきます。

株主の皆さま、こんにちは。PIGEON SINGAPORE PTE. LTD. 社長の仲田です。

ピジョンが初めて海外進出したシンガポールでは、傘下にマレーシアとインドの現地法人を置き、ベトナム、インドネシア等のASEAN諸国、オセアニアおよび中近東・アフリカ地域を管轄しています。

アジア全体の人口増加はめざましく、年間出生数はインドの2,700万人を筆頭に、インドネシアは430万人、ベトナムは140万人と、日本の100万人を優に上回っています。この巨大市場は、高い経済成長が見込まれているほか、消費者の日本ブランドに対するイメージも総じて良く、ピジョンにとって大きな成長ポテンシャルを秘めた市場となっています。

シンガポール管轄であるインドネシアやベトナム、中近東では、主力商品である哺乳びん・乳首のシェアが高く、既に多くの消費者から受け入れられていますが、今後はさく乳器やスキンケア商品等の販売にも注力していきます。また、経済成長に伴って急拡大することが見込まれるアッパーミドル層の需要を取り

込むために、現地調達比率の向上等でコスト競争力の高い現地発の商品の開発も強化し、市場の成長スピード以上の成長を実現していきたいと考えています。

民族・文化・宗教と多様性に富んだ地域なので、日本とは違った苦労もあります。しかしその一方、多民族で、女性スタッフも多いシンガポール・オフィスでは、お互いの多様性を尊重し、仕事においても刺激し合いながら、高い意識の下でピジョンの発展に向け力を合わせています。

言葉を話せない赤ちゃんのための商品を長年作ってきたピジョンは、商品の機能、品質に絶対の自信があります。自分の子供には安心して良質な商品を使いたいという気持ちは万国共通ですから、この大きなポテンシャルを秘めたアジアで、ピジョンのシェアをますます高めていけると思っています。株主の皆様には、ぜひ応援いただければと思います。



代表取締役社長 仲田 祐介

当中間期の経営成果

売上高は、引き続き中国事業を中心とした海外や国内ベビー・ママ事業の業績拡大により、465億22百万円(前年同期比18.6%増)となりました。増収の影響に加えて事業拡大に伴う生産拠点の稼働率向上などにより、売上原価率が前年同期比で約1.7ポイント改善したことなどで、営業利益は77億33百万円(同29.2%増)、経常利益は78億73百万円(同32.2%増)、四半期純利益は、52億82百万円(同29.7%増)となりました。

国内ベビー・ママ事業

売上高は142億16百万円(前年同期比14.7%増)となりました。セグメント利益は、新商品のマーケティング活動等により販売費及び一般管理費が増加したものの、前年同期実績を上回る22億96百万円(同13.2%増)となりました。2015年1月に段差をラクラクと乗り越えられるベビーカー「Runfee(ランフィ)」を発売し、さらに7月には秋冬向けの新色2カラーを追加し、順調に売上および市場シェアが拡大しています。また、ダイレクト・コミュニケーションの一環であるイベントとして、出産前の方を対象とした「おっぱいカレッジ」、母子に寄り添う子育て中の母乳育児をテーマとした医療従事者向けのセミナーなどを、当中間期において6回開催し、合計で約670名の方にご参加いただきました。妊娠・出産・育児シーンの女性を応援するサイト「ピジョンインフォ」においても、商品情報の更新など、今後もさらにお客様にお使いいただきやすくなるよう、改善を進めていきます。

子育て支援事業

売上高は33億74百万円(前年同期比0.3%増)となり、またセグメント利益は売上原価率の上昇により、70百万円(同27.0%減)となりました。なお、事業所内保育施設については、1箇所の新規受託を開始し、サービス内容の質的向上を図りながら、運営を行っています。

ヘルスケア・介護事業

売上高は、介護保険制度の改定や消耗商品における競争激化が進む中、34億66百万円(前年同期比1.6%減)となりました。セグメント利益は、営業活動の強化により販売費及び一般管理費が増加し、1億27百万円(同39.8%減)となりました。2015年2月に、姿勢くずれを防ぎ長時間でも快適に過ごせる高齢者用車いす「アシスタイスI・II」、また同年4月には便臭・尿臭を良い香りに変える介護用のスプレー型消臭剤「香り革命® 空間用 シトラスグリーン」の香り」を発売しました。引き続き、競争優位性のある新商品を投入し、施設ルートに注力した営業活動の強化など、施策実行を徹底していきます。

海外事業

当中間期より韓国、香港、台湾、ロシア等の地域における事業の管轄が、これまでの海外事業から中国事業本部へと移管されたものの、売上高は119億80百万円(前年同期比13.9%増)となり、セグメント利益は26億25百万円(同16.1%増)となりました。インドにおいては、引き続きピジョンブランドの市場浸透を目指して積極的な営業・マーケ

ティング活動を展開しています。2015年3月には現地工場稼働により商品供給体制の整備を進めています。また、北米・欧州においては、主力である乳首クリームや母乳パッドなどの授乳関連用品に加え、昨年より新たに販売された哺乳びんを中心に商品カテゴリーの拡充を図っています。またイギリスやドイツなど各販売拠点の組織体制の強化も進めており、引き続きさらなる事業拡大を目指していきます。

中国事業

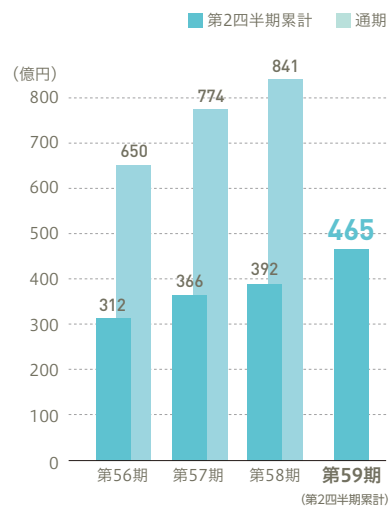
売上高は166億円(前年同期比51.6%増)で、セグメント利益は、事業の積極的展開に伴うマーケティング活動などにより、販売費及び一般管理費が増加したものの、47億98百万円(同45.2%増)となりました。また、当中間期より、韓国、香港、台湾、ロシア等の地域における事業の管轄が海外事業本部より移管されました。その影響に加え、マーケティング、販促普及活動の継続的な強化による哺乳びん・乳首カテゴリー等の順調な伸長により、売上高、セグメント利益ともに前年同期実績を大幅に上回りました。当中間期には新たなベビースキンケアシリーズを発売したほか、紙おむつをこれまで以上に吸水性の優れた商品へとリニューアルするなど、主力の哺乳びん・乳首以外のカテゴリーへも注力しており、さらなる事業拡大を目指していきます。

その他

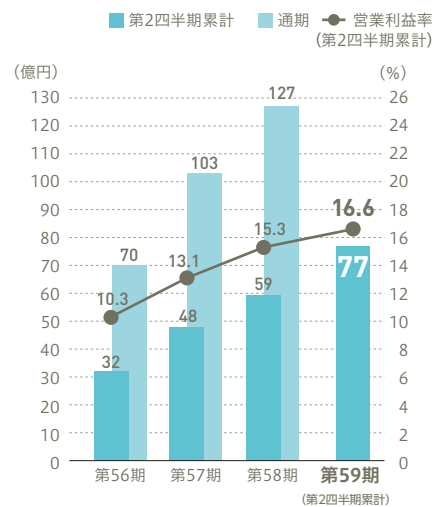
売上高は6億33百万円(前年同期比3.2%減)、セグメント利益は73百万円(同14.9%減)となりました。

主な経営指標

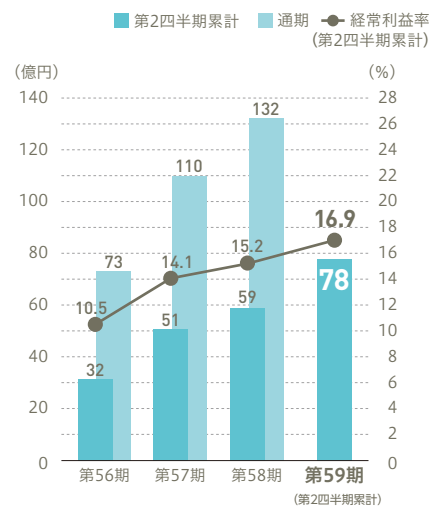
売上高



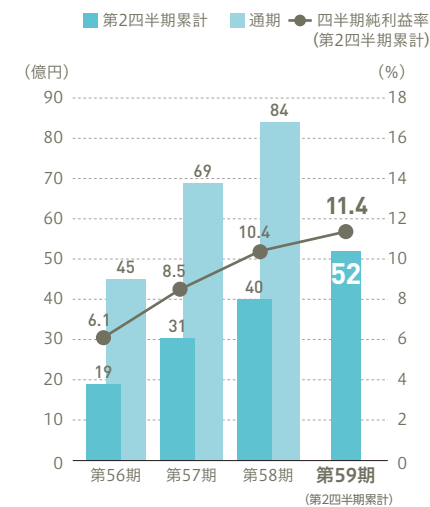
営業利益 / 営業利益率



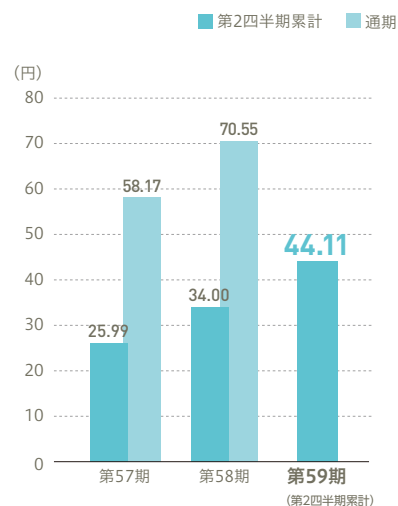
経常利益 / 経常利益率



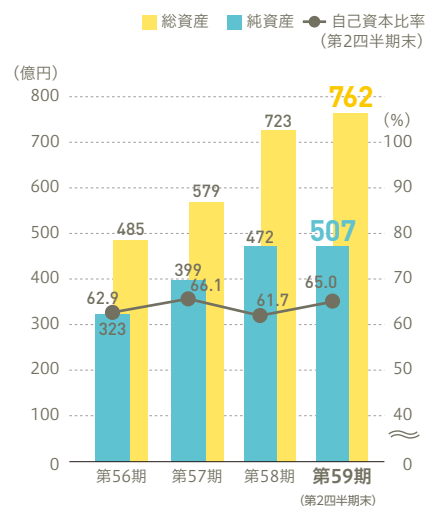
四半期(当期)純利益 / 四半期純利益率



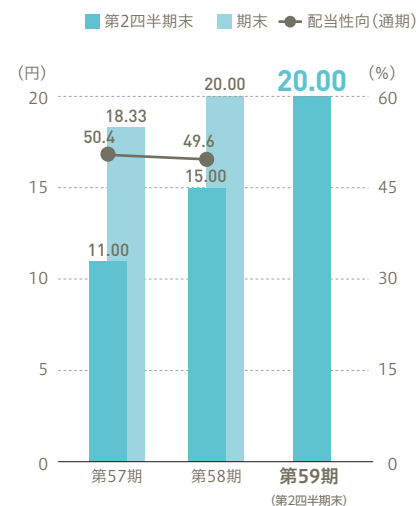
EPS (1株当たり四半期(当期)純利益)



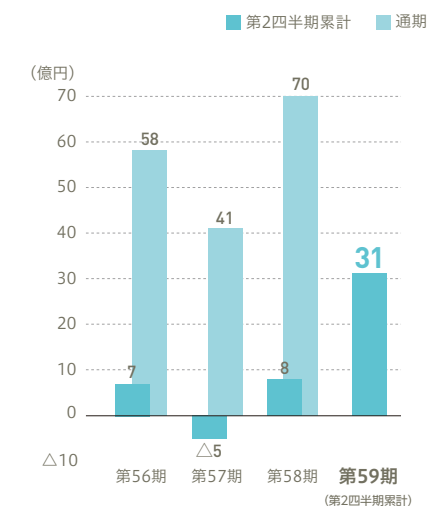
総資産 / 純資産 / 自己資本比率



配当 / 配当性向



フリー・キャッシュ・フロー



※当社は2013年8月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で、また2015年5月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期(当期)純利益、および配当につきましては、当該株式分割後の株式数により算出しております。

トピックス

「ピジョン じっくり授乳期研究会」プロジェクトをスタート

「より多くの赤ちゃんが健やかに育ち、より多くのママやご家族が育児に幸せを実感できる社会を実現していきたい」との理念のもと、2015年3月、ママの授乳期の課題とソリューションを専門家とともに考える「ピジョンにじっくり授乳期研究会」プロジェクトをスタートさせました。本研究会では、「授乳」に関わる課題全般を対象領域とし、国内外での調査や研究結果をもとに、現状把握と問題点を明らかにするとともに、ソリューションの提案を行います。授乳実態調査や研究成果の発表、シンポジウムの開催、医療従事者やママとご家族に向けた情報発信などの活動を通じて、赤ちゃん、ママ、パパ、ご家族に「じっくり」を届けてまいります。

『Pigeon Way』の浸透活動

ピジョンの海外展開が急速に進む中、すべての従業員が『Pigeon Way』の理解を深め、しっかりとその浸透・定着が図れるよう、マネジメントが国内外の全拠点を巡回する形で『Pigeon Way』ミーティングを随時開催しています。すでに山下社長自らが国内・海外の各拠点でミーティングを実施しました。また、各拠点における『Pigeon Way』の進捗状況は、定期的に和文と英文で発行される社内報の一つ『Pigeon Way』ニュースレターを通じて、社内で共有を図っています。



ウェブサイト・リニューアル

2015年9月に「コーポレートサイト」と「グローバルサイト」のリニューアルを行いました。

今回のリニューアルでは、デザインを刷新するだけでなく、「株主・投資家の皆様へ」のページにおいて、業績や財務情報等の経営情報をグラフでご確認いただける「チャートジェネレータ」という機能を追加しています。また、IRライブラリーでは、決算短信などの過去の情報をわかりやすくご確認いただけます。

今後も、株主の皆様にとってより使いやすいサイトを運営してまいりますので、ぜひ、サイトをご覧くださいと思います。



掲載サイト <http://www.pigeon.co.jp/>

Corporate Profile

会社概要 (平成27年7月31日現在)

設立年月日	昭和32年8月15日
事業内容	育児・マタニティ・女性ケア・ホームヘルスケア・介護用品等の製造、販売および輸出入ならびに保育事業
資本金	5,199,597千円
従業員数	本社982名 連結3,715名
本社	〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4番4号 TEL 03-3661-4200(代表)
役員	取締役最高顧問 …………… 仲田 洋一 代表取締役会長兼取締役会議長 …………… 大越 昭夫 代表取締役社長 …………… 山下 茂 取締役専務執行役員 …………… 赤松 栄治 取締役専務執行役員(海外事業本部長) …………… 北澤 憲政 取締役上席執行役員(ロジスティクス本部長) …………… 甘利 和久 取締役上席執行役員 …………… 倉知 康典 取締役上席執行役員 …………… 板倉 正 取締役(社外) …………… 新田孝之 常勤監査役 …………… 高島 康 常勤監査役 …………… 湯田 博毅 監査役(社外) …………… 西山 茂 監査役(社外) …………… 出澤 秀二 執行役員(経営企画本部長) …………… 松永 勉 執行役員(経理財務本部長) …………… 牧 裕康 執行役員(人事総務本部長) …………… 浦狩 高年 執行役員(開発本部長) …………… 笠原 かほる 執行役員(品質管理本部長) …………… 岩本 忍 執行役員(国内ベビー・ママ事業本部長) …………… 橋本 伸行 執行役員(ヘルスケア・介護事業本部長兼 ビジョントピラ(株)代表取締役社長) …………… 石上 光志 執行役員(中国事業本部長) …………… 賀来 健 執行役員(子育て支援事業本部長兼 ビジョントピラ(株)代表取締役社長) …………… 鶴 孝則 執行役員(PIGEON SINGAPORE PTE. LTD. 代表取締役社長) …… 仲田 祐介 執行役員(PIGEON PRODUTOS INFANTIS LTDA. …… 増成 裕之 代表取締役社長)

主要事業所

事業所 茨城県稲敷郡阿見町
東京都中野区

物流センター 茨城県常陸太田市
兵庫県神崎郡神河町

研究所 茨城県つくばみらい市

営業拠点 札幌・仙台・東京・名古屋・金沢・大阪・広島・福岡

次の19社を連結の対象にしています。(平成27年7月31日現在)

- ビジョンホームプロダクツ(株)
- ビジョンハーツ(株)
- PHP兵庫(株)
- PHP茨城(株)
- ビジョンタヒラ(株)
- ビジョン真中(株)
- PIGEON SINGAPORE PTE. LTD.
- PIGEON INDIA PVT. LTD.
- PIGEON MALAYSIA(Trading) SDN. BHD.
- PIGEON(SHANGHAI) CO., LTD.
- PIGEON MANUFACTURING(SHANGHAI) CO., LTD.
- PIGEON INDUSTRIES(CHANGZHOU) CO., LTD.
- LANSINOH LABORATORIES, INC.
- LANSINOH LABORATORIES MEDICAL DEVICES DESIGN INDUSTRY AND COMMERCE LTD. CO.
- LANSINOH LABORATÓRIOS DO BRASIL LTDA.
- DOUBLEHEART CO. LTD.
- PIGEON PRODUTOS INFANTIS LTDA.
- PIGEON INDUSTRIES(THAILAND) CO., LTD.
- THAI PIGEON CO., LTD.

次の1社について持分法を適用しています。

- P.T. PIGEON INDONESIA

株式の状況 (平成27年7月31日現在)

発行可能株式総数 360,000,000株

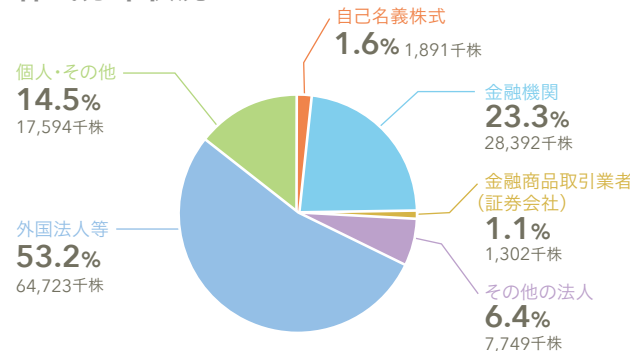
発行済株式の総数 121,653,486株

株主数 12,658名

自己株式 1,891,387株

大株主(上位10名)	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,678	6.3
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505041	6,785	5.6
ピーエヌピー パリバセック サービス ルクセンブルグ ジャスデック アバディーン グローバルクライアント アセツ	5,384	4.4
仲田 洋一	5,338	4.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,118	4.2
ピービーエイチ マシユーズ アジア デイビデンド ファンド	4,786	3.9
バンクオブニューヨーク、 ノントリーティ ジャスデックアカウント	4,163	3.4
ステート ストリートバンク アンドトラスト カンパニー	3,581	2.9
ワイ. エヌ株式会社	3,000	2.5
ビジョン株式会社	1,891	1.6

株式分布状況 (所有者別:千株)



株主メモ

証券コード 7956

事業年度 2月1日から翌年1月31日まで

定時株主総会 毎年4月

期末配当金受領株主確定日 1月31日

中間配当金受領株主確定日 7月31日

**株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

**株主名簿管理人
事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

**同事務連絡先
(お問合せ先郵便物送付先)** 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711
(通話料無料 平日9:00~17:00)
ホームページ <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

単元株式数 100株

公告の方法 電子公告 <http://www.pigeon.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

ご案内

株式に関する住所変更等のお問合せおよびお届出について

株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

特別口座について

特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行各支店でもお取り扱いいたします。

未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行各支店でお支払いいたします。

インターネットホームページでもIR情報を掲載しています。

ビジョントップページ <http://www.pigeon.co.jp/>

IR情報トップページ <http://www.pigeon.co.jp/ir/index.html>

新商品・サービスのご紹介

「おしりナップ® やわらか厚手仕上げ」

赤ちゃん用おしりふき「おしりナップ®やわらか厚手仕上げ」は、ピジョン独自の「でこぽこシート」構造で、シートの厚みやふわふわ感がさらにアップ。1枚でもしっかり汚れを取り込み、ゴシゴシこすらずにすっきり落とせます。赤ちゃん想いの設計で、化粧水「純水99%」配合。また、パラベンなど「無添加」なので、生まれたばかりの赤ちゃんから安心してお使いいただけます。



ベビーカー「Runfee(ランフィ)」 2015秋冬トレンドの新カラー追加

発売以来好評いただいている、赤ちゃんの安全性とママの押しやすさにこだわったベビーカー「Runfee(ランフィ)」に、2015年秋冬トレンド新カラー「ブラウンチェック」「コーラルカモフラ」が加わりました。大径16.5cmのシングルエアタイヤで、街中に多く見られる段差もラクラク乗り越えられるほか、5.4kgと軽量で、片手での開閉や持ち運びも楽にできます。



介護用消臭剤「香り革命® 空間用 シトラスグリーンの香り」

「香り革命®空間用 シトラスグリーンの香り」は、便臭・尿臭を心地よい柑橘系シトラスグリーンの香りに変える介護用スプレー型消臭剤です。便・尿特有の排泄物臭を香りの構成成分の一部として取り込んで良い香りに変化させる「フィードラント効果」で、お部屋などの広い介護空間も、1スプレーで長時間、消臭効果を持続できます。



表紙の絵について

当社は、未来の科学の夢絵画展「幼稚園・保育園の部」の発明協会会長賞ならびに優秀賞を受賞された幼稚園・保育園に対して、当社創業者の故仲田祐一が幼児の創造性育成のために公益社団法人発明協会へ寄贈した基金により「仲田祐一奨励金」を毎年協会を通して贈呈しております。表紙の絵は同協会のご協力を得て掲載しているものです。



この報告書は環境保全のため、環境に優しい植物油インキを使用して印刷するとともに、針金を使わないエコ製本を採用しています。

